

令和5年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	いこいの家西川荘		
管理者名	株式会社関越サービス	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担当課	西蒲区 健康福祉課		
所在地	新潟市西蒲区川崎308番地4		
根拠法令	老人福祉法 第5条の3, 第15条第5項, 第20条の7		
設置条例	新潟市老人福祉センター条例, 同施行規則		
施設概要	◇敷地面積 6,030.81 m ² ◇建築面積 1,891.56 m ² ◇延床面積 1,891.56 m ² ◇構造: 鉄骨造2階建(一部木造平屋建) ◇設置年月 平成2年5月, 11月 平成14年11月(2階) ◇施設内容 <1階> 大広間(150畳), 中広間(75畳), ロビー, リラックスルーム, 機械室, 倉庫, 事務室, 浴室・脱衣場(男女各1), 湯沸室, トイレ(男女各2, 障がい用1), 調理室, エレベータ, 学習室, 展示室 <2階> 研修室, 和室4(8畳×1, 10畳×2, 12畳×1), トイレ(男女各1, 障がい用1)		

施設設置目的
高齢者に対して, 各種の相談に応ずるとともに, 高齢者の健康の増進, 教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として, 新潟市老人福祉センターいこいの家西川荘を設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1) 関係法令, 条例, 規則等を遵守, 施設の設置目的に沿った適正な管理を行う。 【重点課題】 ・関係法令, 条例, 規則及び業務仕様書に定める事項の遵守 ・施設の設置目的にふさわしく, かつ明確な運営 (2) 利用者が安心して利用できる体制の整備, また平等な利用を確保する。 【重点課題】 ・利用者の安全確保(通常時・災害時とも)のための対策 ・事故発生時に適切な対応ができる体制の整備 (3) 利用者が快適に施設を使用できるよう, 施設, 設備, 備品の維持管理を適正に行う。 【重点課題】 ・施設の建物・設備・備品について良好な状態を保つ方策 (4) 利用者の意見, 要望等を適切に施設の管理に反映し, サービスの向上に努める。 【重点課題】 ・施設利用者へのサービス向上を実現するための具体的な計画 ・利用促進のために有効的なPR方法の提案 (5) 常に効果的かつ効率的な管理に努め, 経費の節減を図る。 【重点課題】 ・管理運営経費の縮減が図られる管理計画 ・収支計画の妥当性

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	入場者数(年)	60,000人以上	38,134人	C	目標に達しなかった
	個室利用件数(年)	200件以上	554件	A	目標を大きく上回る利用だった
	利用者満足度	利用者アンケートでの満足度70%以上	「満足」が80%、「普通」が20%、「不満」が0%	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対する5営業日以内の回答及び区への当日内の報告	発生時には速やかに区に報告し、個別の対応を実施	B	
	設置目的に合致したサービス提供	年間3回以上実施	変わり湯、ビンゴ大会、骨密度測定、ポイントラリー等を実施	A	目標を達成するとともに、集客につながるよう新たな独自の事業を計画・実施した。
財 務	利用者1人あたりの運営経費	490円以下	788円	C	目標に達しなかった
	使用料収入額(年)	1,900,000円以上	1,282,200円で昨年度より65,730円増加	C	入場者数の減少によるもの
	光熱水費・委託料等の削減	電気・ガス代等経費の削減努力	設備のアイドルタイム削減と湯温・室温管理	A	収支報告書より削減努力が見られる
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	内容の適切、定められた期日までの報告	期日までに報告	B	
	防災・避難訓練実施回数	年間2回以上実施	2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	発生時には速やかに報告、必要に応じ報告書を作成・提出	B	
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修年2回以上の実施	年2回の研修とミーティングの実施	B	
	労働基準の充足	労働基準法、労働安全衛生法その他の労働基準に係る法令の遵守	各法令を遵守	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和5年度利用者数は38,134人(昨年度実績688人増加/昨対101.6%)と最終的にほぼ横這いの結果となりました。評価指数である60,000人には遠く及びませんでした。令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類変更後も、夏場の猛暑続き・冬場の積雪・元旦の能登半島地震発生と出足をくじかれる状況が多く、加えて老人クラブの会員数減少と活動規模縮小の影響で令和5年度は大変厳しい展開となりましたが、令和5年10月から展開した弊社指定管理9施設共催イベント【秋の湯めぐりスタンプラリー】【お風呂大好き選手権】の新潟市内施設回遊・リピート利用促進が当館利用者数減を最小限に食い止めたものと考えております。今後につきましては、新規利用者増につながるイベントの開催ならびに夏場のコミュニティオアシス開放等にて、安全・安心・楽しさを旨とした施設運営を行ってまいります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

・入場者数の増加につなげるために、独自の事業を計画・実施された。実際、新規利用者やリピーターの増加につながっているとのことで、指定管理者の運営に取り組む姿勢及び事業内容を評価する。
・光熱水費の節約を図るために細かい見直し及び対応を励行された効果を収支報告書より見る事ができた。経費削減の意識をもって管理・運営を行っていることを評価する。
・引き続き衛生管理に気を配るとともに、施設・設備の不具合箇所の点検や修理を行い、利用者が安全に安心して過ごせるような環境づくりをしていただきたい。